

平成3年

全国高等学校 総合体育大会



頑張っています 八月に向けて

高校生にとって、名実ともに最高のスポーツの祭典「全国高校総体」が、八月一日から県内十五市九町で開催されます。本市でも市立体育館を主会場にバドミントンが行われ、約千四百人の選手・監督が来富します。開会まであと二百十一日。生徒たちは一人一役運動で、全国各地から集う選手の歓迎準備を進めています。また、総体出場を目指す選手たちも練習に熱が入っています。



△後藤進矢君(右)と金指道也君



△左から小林優子さん、望月由喜さん、脇田裕美さん、大野美奈子さん、内田衣吏子さん、加藤明子さん

吉原高新体操部

新体操部員は十人。リボンやこん棒を手に、リズムカルに躍動します。

昨年は、国体には出場したものの、高校総体予戦では、ライバルの浜松市立高に敗れ、涙をのみました。これから、新しい曲と演技をマスターするため、練習に力が入りますが、個人は脇田裕美さん、団体は小林優子さんほか五人の出場に、期待がかかります。

富士地区 生徒推進委員会

高校生全員の力を結集し総体を成功させようと、各校の代表で生徒推進委員会をつくりました。会では看板の制作、総体ニュースを発行するなど、生徒・市民の意識高揚に努めるほか、「富士の型染め」など、手づくりの土産品もつくり始めました。

総体期間中は、市内のバドミントン競技だけでも、競技補助、駐車場整理などに、延べ三千人の生徒が活躍します。



△市内6校の推進委員の皆さん

吉原工業高レスリング部

夏暑く冬寒い道場で、汗を流しながら、黙々と練習する部員は九人。昨年の福岡国体に、学校で初めて出場し、三位になったのは、キヤプテンの後藤進矢君。また、昨年の新人戦県大会でも二位に入賞し、八月の高校総体出場に期待がかかります。後藤君は「下半身を中心に鍛え、出場できるように頑張りたい」と話してくれました。

新年の「ごあいさつ」

工業都市の基盤の上に文化都市を

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年暮れから、工業都市という揺るぎない基盤の上に文化都市を築く、新しい「文化会館」建設のツチ音が、市民の夢をのせて響いております。今年も多くの事業を推進し、二十一世紀に向けた文化性豊かな都市形成を進めてまいります。

皆様の一層の御支援、御協力をお願いし、あわせてこの一年の御多幸を祈ります。

平成三年一月一日

富士市長

鈴木清見



文化の香り高い住みよいまちづくり

謹んで年の始めの御祝詞を申し上げます。

皆様には健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平成三年の年頭に当たり、議員一同、豊かで文化の香り高い住みよいまちづくりのため、皆様とともに明日の富士市を拓いて参る所存であります。

なにとぞ、旧倍の御支援御指導を賜りますことをお願い申し上げます。

平成三年一月一日

勝亦久次

富士市議会議長



△斉藤三千八君

吉原商業高陸上部

昨年の新人戦県大会で、円盤投げ第三位となった斉藤三千八君。「大会で自信がついた」と総体出場を照準に。

円盤投げに求められるのは、回転のスピードと滑らかさ、そしてパワー。選手としては小柄の斉藤君は今、筋力トレーニングを中心にしています。「目標は四十五斤以上。とにかくベストを尽くしたい」と意欲的です。

富士東高剣道部



△渋谷津雪さん(左)と渡辺博仁君

部員二十人の小所帯ながら、女子団体と二年生の渡辺博仁君、渋谷津雪さんの個人戦出場が期待されます。女子団体は、昨年の総体に出場したメンバーが四人も残っていることから、今年の総体出場は、部員のかなりはつきりとした目標に。また、「面が得意」という渡辺君と渋谷さんは、極めて冷静で、短時間に集中力を発揮した練習を行っています。

昨年十一月の県新人戦で団体二位。今年六月の県大会で同じ成績なら、文句なしに総体出場ですが、強敵もたくさんいます。県内では、伊東高校がトップ。続いて富士見、富士宮東など五校が肩を並べます。実力伯仲で、予断を許しません。部員は十一人。秋山仁美キャプテンを中心に、なんとか出場したいと「強気」を合い言葉に頑張っています。

富士見高バドミントン部



△秋山仁美さん(左)と石原美紀さん



△山内了秀君(左)と井出俊也君

富士高陸上部

百斤十秒六四。山内了秀君の記録で、県内敵なし。陸上部員は四十人。百斤の山内君と井出俊也君など四人で走る、四百斤リレーの出場に期待がかかります。

特にリレーは、昨年県大会で優勝したメンバー。予選となる六月末の東海大会に向けてトレーニングに励みます。山内君は「地元の人だから頑張ります。大勢の人に高校生を応援してほしい」と話してくれました。